

# はまかせ

風が運ぶお知らせ便り♪

2016 Vol. 15

## ワンランク上の病院をめざして

私たちは、患者さんの意思を尊重し、高度で良質な医療を提供することによって、地域社会に貢献します。



[nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp](http://nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp)

### Message メッセージ

#### 消化器内科診療の現況

ウイルス性肝疾患治療の進歩について

■概要、Q&A、スタッフ紹介 etc.

### Information お知らせ

#### ■にしびようTopics

平成28年度新任看護師オリエンテーション

#### ■新・看護部長からのご挨拶

看護部長 檜垣 美香子

#### ■院長エッセイ「四季雑感」

凜として前へ

#### ■医療技術NOW!

がんリハビリテーション

#### ■絵の中の風景を旅するvol.15

にしびよう美術館館蔵品を毎回紹介



# 消化器内科診療の現況

消化器内科部長: 飯尾禎元



**消** 化器内科は、上部、下部消化管、肝、胆、膵に関連する疾患を対象としており、非常に多岐にわたりますが、その中で、B型およびC型ウイルス性慢性肝炎についての最近の治療の進歩をご紹介させていただきます。これらの慢性肝炎は、自覚症状は伴わないことが多いですが、治療が困難であり、その多くの患者さんが、肝硬変、肝細胞癌へと進行し、死亡の原因となるため大きな問題となります。B型およびC型慢性肝炎ともに、これまでウイルス増殖抑制作用および免疫賦活作用があるインターフェロン(IFN)が使用されてきましたが、副作用が多く、治療効果は限定的でした。

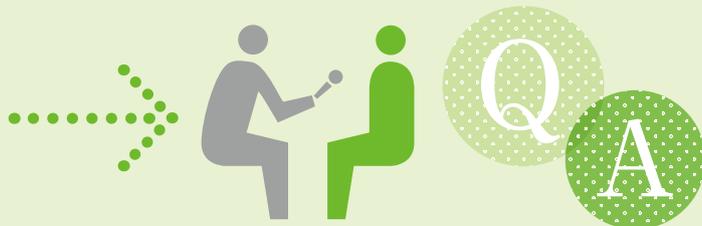
**B** 型慢性肝炎の治療については、2000年以後に、ウイルスの複製過程を抑制する核酸アナログ

製剤が出現しました。長期の治療継続が必要ではありますが、病気の進行をかなり抑制できる様になっています。

C型慢性肝炎の治療については、2014年7月に、IFNを使用しない、経口薬のみによる治療が開始されています。副作用が少なく、高い確率でウイルスを除去できるようになっています。

B型、C型慢性肝炎とも、新たな肝硬変、肝細胞癌の患者さんが減少することが期待されています。これらの治療は、個々の患者さんの年齢、肝機能、腎機能、ウイルスの分類等により使用薬剤等の選択が必要で、残念ながら使用できない患者さんもあります。感染の有無は血液検査で判定できますので、感染がわかった場合には、専門医療機関を受診して相談するようにしてください。

# 消化器内科について質問! INTERVIEW



## Q 消化器病センター外来はどこにありますか？

A 本館3階フロアにあり、消化器内科、外科が連携し、迅速な診断、治療を行っています。同じ3階フロアに内視鏡センター、CT室、MRI室、レントゲン室があり検査に伴う移動もスムーズです。

## Q 消化器病センター病棟はどのような所ですか？

A 内科、外科の垣根なく、消化器疾患治療に対応しています。外科病棟(7階)と内科病棟(10階)が連携を図り入院患者様の受け入れをスムーズに行えるよう取り組んでいます。内科病棟でも手術受け入れを行っているので、外科的治療に変更しても、病棟の移動をしなくてもよい様に患者様にとって安心、安全な環境を提供出来るよう病棟間で連携をとりながら看護に取り組んでいます。

(消化器病センター10階病棟 看護師長:大原 晴子)

## 最新情報

## 超音波内視鏡を使って

超音波内視鏡は先端に超音波:エコーがついた胃カメラです。膵臓・胆管・リンパ節・粘膜下腫瘍などは、体の奥にあり検査が難しいとされていました。しかし胃や十二指腸の中から見ればすぐ裏にあるので、カメラで中から超音波を当てればよく見え、針を刺して細胞をとることができます。

治療にも応用でき、詰まった胆汁や膵液が流れる道を作ったり、癌の痛みに対して腹腔神経叢に麻酔をしたりしています。

(消化器内科医長:柳川 和範)



## スタッフ紹介



- 河田 純男 院長(前列左から3番目)
- 乾 由明 副院長、地域医療連携部長、消化器内科部長(前列左から4番目)
- 安永 祐一 消化器内科部長、検査・放射線部長、内視鏡センター長(前列左から5番目)
- 植原 啓之 消化器内科部長、腫瘍内科部長、化学療法センター長(前列左から2番目)
- 飯尾 禎元 消化器内科部長(前列左から1番目)
- 武田 梨里 消化器内科医長、内視鏡センター副センター長(後列左から7番目)
- 森田 香織 消化器内科医長、腫瘍内科医長(後列左から5番目)
- 田中 絵里 消化器内科医長(後列左から1番目)
- 福島 寿一 消化器内科医長(後列左から4番目)
- 青野 悟志 消化器内科医長(後列左から6番目)
- 三浦 勇人 内科専攻医(消化器内科)(後列左から2番目)
- 光藤奈菜子 内科専攻医(消化器内科)(後列左から3番目)
- 柳川 和範 消化器内科医長
- 森本 美希 消化器内科医長

## 平成28年度 新任看護師オリエンテーション (2016.4.28)

今年度も新卒看護師、既卒看護師や長期研修者など51名が入職しました。オリエンテーションや看護技術研修を受けて部署に配属になりました。研修には西宮市訪問看護財団から1名、兵庫県立光風病院から4名の新人看護師も仲間に加わり、実技の発表をしながら楽しく研修を受けました。配属場所で実践に活かして頑張ってくれることを期待しています。(教育専従看護師長：網本 久代)



### 新・看護部長 ご挨拶

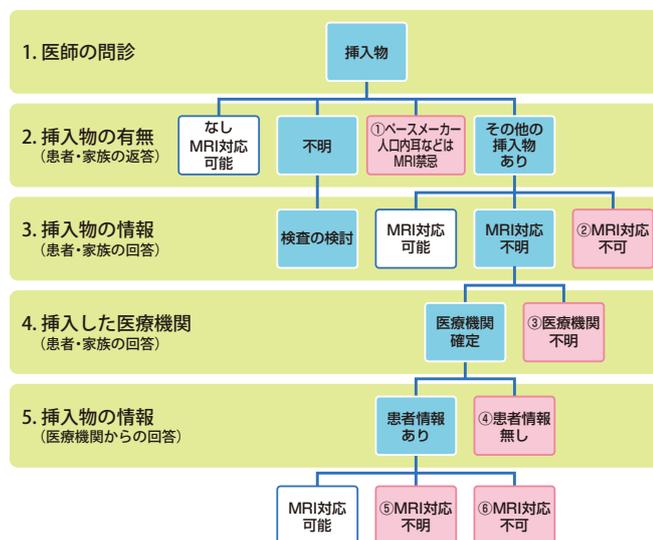
西宮市保健医療計画の基本理念である「すべての市民が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち・西宮」を念頭におき、地域の中核病院としての使命を遂行したいと思います。看護部では、ワンランク上の看護をめざし、今までの看護にひとつプラスした“ワンモアの看護”を実践しています。地域医療連携におきましても、看護師の熱い思いを“ワンモアの看護”として見える形にし、患者様を中心としたチーム医療に地域の皆様と共に取り組みたいと考えています。(看護部長：檜垣 美香子)

こんにちは!

## 地域医療連携センターです!

平素は、検査のご依頼を頂きましてありがとうございます。最近、MRI検査時の挿入物に対するお問い合わせを多数いただいております。中には、当日患者様の申し出があり、検査ができないことも起きておりますので、MRI検査のご希望時には検査が可能である事をご確認の上、予約を頂きたいと思っております。当院、ホームページにMRI検査の判定フロー(右記参照)を掲載しておりますので是非、ご活用いただきまして検査予約をお願い致します。

(地域医療連携センター課長：福田 和美)



# 四季雑感



**真** 夏に咲く花といえば、早朝のやわらかな光に映える深紅の花をつけた百日紅を想い起します。年輪を経て、大小の瘤が幹を歪め、樹皮は所々で剥がれ落ちていても、大きな存在感を持って立っている姿は、見る者の気持ちを引き立ててくれます。

ほぼ満開であった百日紅が剪定され、花が無くなっているのを見たことがあります。その時はなんと心ないことをするものだと思いたものでした。ところがしばらくすると、小さな花芽が無数に出てきて、前より増して花をたわわにつけた百日紅を目にして、大きく伸びるためには、現状に甘んじてはいけないうる感慨に襲われたことがあります。

ヒトの身体は60%以上が水からできていますが、加齢によっても、またいろいろな病態でも水に溶けにくい物質が溜まってきます。例えば、胆石や尿管結石症などがそうですが、あまり知られていないのが慢性膵炎で生じる膵石です。

これは膵管にカルシウムを含む成分が析出して石状になったもので、とても強い腹痛を起こします。

この膵石の治療は現在でも難渋することがありますが、いくつかの治療法が行われています。まず体外から特殊な装置を用いて衝撃波を照射することにより、膵石を破碎する方法です。これにより膵液の分泌がスムーズになることで症状を軽快することができます。しかし、この方法では膵石を破碎できないことがあります。

そこで十二指腸から膵管内に直径3mm程度の細い内視鏡を挿入し、この内視鏡からさらに細い管(プローブ)を出して膵石に接触させ、衝撃波で破碎する方法が一部の症例で行われています。このように内視鏡の進歩により、それまで思いもつかなかったような治療法が開発されてきています。

この時期、なぜか百日紅の蒼然とした幹を見ると、加齢や病でいかに身体に変化が起こっているとしても、なお凜とした存在であり続けることができると感じてしまいます。



兵庫県立西宮病院 院長  
河田 純男



## 医療技術 NOW!

西宮病院の「今」がわかる。

### 【がんのリハビリテーション】

当院ではがんの治療で入院している患者様へのリハビリテーションを実施しています。がん患者様へのリハビリテーションを実施するためには厚生労働省で定められている「がんのリハビリテーション研修」を修了する必要があります。当院では内科医2名、外科医1名、看護師5名、理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名が研修を修了し、がん患者様へのチーム医療を担っています。がんの種類や病状、治療による副作用などに十分な配慮を行ったうえで、治療によって生じた筋力低下や運動障害などに対して、筋力強化、歩行練習などの運動療法や日常生活動作練習、嚥下訓練等を行い、患者様のQOL (Quality Of Life: 生活の質) の向上を目指しています。(リハビリテーション科 理学療法士 福住 由惟)



# 絵の中の風景を / 旅する vol.15

<http://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp/>

当院外来ロビーや各病棟には、地域の方々や入院患者さん、そのご家族などからのご寄付による200以上にのぼる絵画が飾られています。“にしびょう美術館”の貴重な“館贈品”は、当院ホームページ内の「にしびょうWebミュージアム」でも常設展示していますが、これらの作品の中から、毎回、ちょっと気になる1作品をとり上げてご紹介いたします。一緒に、絵の中の風景を旅してみませんか。



展示場所

本館3階  
放射線科受付前



パリの街角での犬の散歩風景でしょうか？相性の良くない犬達が睨み合って今にも飛びかかろうとしています。けんかをさせまいと互いにロープを引っ張る飼い主とそれを無関心に眺めるカフェの客達の構図がユーモラスに描かれています。

パリはとても愛犬家の多い街で、約30%の家庭で犬を飼っているそうです。日本でも犬を飼っている家庭は15%に上るそうですが、犬の散歩をしたことがある人なら、この絵を見て思い当たる節があるのではないのでしょうか。

(総務部:伏見 達)

## ● 地域医療連携センターからのお知らせ ●

脳外科医の4月異動があり、外来診療の組み合わせが予測されます。受診に余裕がある方は、地域医療連携センターへ介しての予約を取っていただけますように、ご協力をお願いいたします。

## 編集後記

編集室



暑い日々が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は内科系6部門のうち消化器内科についてご紹介をさせていただきました。各部門に分かれているため、より専門性の高い医療をおこなうことが特徴となっております。職員一同が新たな目標に向かって走り出しました。診療部に引き続き他部門においても専門性を活かした活動を今後もご紹介をしていけたらと考えております。

(看護部次長:日野 千奈美)

H A M A K A Z E

2016  
Vol. 15

## 兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号  
TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594  
地域医療連携センター FAX:0798-34-4436  
E-mail:chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

[nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp](http://nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp)

2016.8 発行